

## 信州上田医療センターの医師数は73人、大幅増加 (上田地域広域連合議会報告)

5月21日(金)、上田地域広域連合議会5月臨時会が、丸子地域自治センター4階で開かれた。

土屋陽一上田地域広域連合長(上田市長)の挨拶(主な内容)

◆最重要課題である資源循環型施設建設(現在の三才山、丸子、東部の三つのクリーンセンターを統合する事業)については1年4か月、9回の検討委員会の協議結果は、4月21日に報告会が開かれて私に報告された。「今後に向けてでは、周辺環境への影響について詳細に調査し、科学的データに基づいた協議が必要である」「資源循環型施設及びまちづくりの計画などを定期的に協議する組織を設け、話し合いを続けていくべきである」との意見をもらった」と挨拶。

◆令和元年度の可燃ごみは、広域連合全体で39727トン、前年比で565トン、1.4%増加。このうち、東日本台風の災害ゴミとして受け入れた量は88トンとのことでした。

◆また、火災状況については、3月末現在、建物火災のなかで住宅火災は10件中8件あり、すでに2人の方がなくなっている。今後も住宅防火対策を一層進めていくとしました。

◆地域医療対策については、「上小医療圏地域医療再生計画」に基づく事業などにより、信州上田医療センターの医師数は、本年4月1日現在、研修医を含めて73人となり、昨年比5人増加した。

○議案は、本会議では人事案件「副広域連合長の選任」「監査委員の選任」「公平委員の選任」が提案通り同意されました。

○総務委員会では、契約に関する2件「上田東北消防署水槽付きポンプ自動車の購入について:契約金額7,590万円」「依田窪南部消防署高規格救急自動車の購入について:契約金額3,623万4千円」が提出され、可決されました。

・新型コロナウイルス感染症への救急対応については、110番通報から、現場到着、上田保健所への連絡、指示により医療機関への搬送までの一連の動きについても資料を使って説明がありました。

○保健福祉委員会では、ふるさと基金特別会計補正予算(専決処分):財源の36万円の組替えで、内容は貸与者が上田市以外の医療機関へ就職したことによる返還金によるものです。

### 5月写真通信



#### 【写真の説明】

【左上から下へ】鹿教湯温泉に道路に「三才山トンネル無料化」の看板設置、平井バイパスの道路工事(三才山トンネル無料化に一部間に合わせる予定)、梶子ワイナリーにつながる道路改修工事。丸子東部インター線からのアクセスが大型バスを含め利便性が向上する。

【中央上と下】日本百選になっている「信州稲倉の棚田」今年から妻が関わることになった。区画図によると「棚田米」「酒米」「自然派」の3種類の棚田があるそうです。内村ダムの下にある入山地域の畑に、エクスパリーアザレアが満開となっていました。

【右上から下へ】上田市役所本庁舎改修改築工事。駐車場に省エネ装置が設置されている。これは、「地中熱利用は地中温度と外気温の温度差をエネルギー源に活用」するものです。一番下は、丸子地域自治センターの耐震化改修工事です。西側(国道152号線側)の市民室(3階)に耐震化のための補強がされているもの。